

第21回独立行政法人農林漁業信用基金農業信用保険業務運営委員会 議事概要

1 日時及び場所

- (1) 日時 令和7年9月17日(水) 15時40分～17時20分
- (2) 場所 東京都港区愛宕2-5-1 愛宕グリーンヒルズMORIタワー28階
独立行政法人農林漁業信用基金 大会議室

2 出席者

- (1) 運営委員(出資者・学識経験者別 五十音順)
 - 出 資 者：尾崎委員、小島委員、蒲原委員、菅原委員、松谷委員
 - 学識経験者：嶋崎委員、牧之瀬委員、水上委員、山本委員
- (2) 信用基金
牧元理事長、北副理事長、平山総括理事、平岡理事、山根理事
- (3) オブザーバー
農林水産省経営局金融調整課 白石課長
財務省大臣官房政策金融課 手嶋課長補佐

3 提出議案

- (1) 報告事項
 - ① 令和6年度に係る業務の実績に関する評価について
 - ② 令和6年度決算について
 - ③ 令和7年度の農業信用保証保険業務の概況について
- (2) 情報提供事項
 - ① 農業施策について
 - ② 委員からの情報提供
- (3) その他

4 議事経過の概要及びその結果

上記3(1)について信用基金から報告が行われた。その後、上記3(2)について、農林水産省及び各運営委員からの情報提供及び意見交換が行われた。
運営委員からの主な質問・意見は以下のとおり。(カッコ内はこれに対する説明。)

【質問・意見等】

- (1) 報告事項
 - ① 令和6年度に係る業務の実績に関する評価について
(質疑なし)
 - ② 令和6年度決算について
(質疑なし)
 - ③ 令和7年度の農業信用保証保険業務の概況について
(質疑なし)
- (2) 情報提供事項
 - ① 農業施策について
 - 農業近代化資金が農業経営高度化資金(仮称)に改正されるとのことだが、名称が変わることのほか、従前の課題である条件面についても変更されるのか。

(資金名を改正するほか、限度額や償還期間など従前の条件面の拡充も含め検討している。)

② 委員からの情報提供

- 水稻に限らず、輸出等市場以外の流通が多岐にわたっている現状を踏まえると、サプライチェーンを把握し、コントロールすることが必要。そこに対するシステム構築をどうしていくかが今後の課題と考える。
- 気候変動に伴い収穫期間が短くなっているため、保存設備の投資を考えているが、農業に関してはそんなに付加価値が高い商品ではないため、投資をどう回収できるのか悩ましい現状にある。

以上